



Daiwa House®
Group

報道関係各位

News Letter

2025 年 12 月 19 日

大和ハウスベンチャーズ株式会社
東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表取締役社長 鈴木 哲雄

グローバルサウスにおける公衆衛生の向上に貢献 アフリカでマラリアの撲滅を目指す「SORA Technology」に出資

大和ハウスグループの大和ハウスベンチャーズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：鈴木哲雄、以下「大和ハウスベンチャーズ」）は、2025 年 12 月 19 日、大和ハウスグループ投資事業有限責任組合※1（以下「“将来の夢” ファンド」）を通じて、SORA Technology（ソラテクノロジー）株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表：金子洋介、以下「SORA Technology」）へ出資しました。

※1.大和ハウスベンチャーズが運営するコーポレートベンチャーキャピタルファンド



SORA Technology は、「宙(SORA)」を活かし、「世界のどこでも安全で豊かな社会」を実現することをミッションに掲げ、主にアフリカでマラリアをはじめとする感染症対策事業を展開しています。その一環として、感染症の集団発生を予測するサービスも提供することで、公衆衛生の向上、持続可能な社会の実現を目指しています。同社のサービスは、ドローンと AI を活用し、水たまりの検知からボウフラの生息リスクの判定、防ボウフラ剤散布までを一気通貫で提供しています。従来のボウフラ対策では、複数人が現地を巡回して水たまりを探し、蚊の幼虫であるボウフラの有無に関わらず水たまりの全てに防ボウフラ剤を散布していたため、実施コストに大きな課題がありました。同社のドローンを用いた空からの監視・管理技術や水・環境情報のリモートセンシング技術などにより、効率的にボウフラ発生リスクのある水たまりを検知することで、防ボウフラ剤の節約にもつながり、より高い費用対効果を実現しています。

今後は散布作業の自動化など更なる技術開発を進めるとともに、蚊が媒介する感染症であるデング熱やジカウイルス感染症などの対策サービスの提供を目指しています。

大和ハウスグループは、本出資を通じて SORA Technology と共に、公衆衛生の改善を図る排水インフラの整備等、開発途上国における人々の健康な暮らしへの貢献を進めていきます。



【ドローン】



【水たまり検出の様子】



【水たまり検出の概念図】

■ “将来の夢” ファンド（正式名：大和ハウスグループ投資事業有限責任組合）の概要

「“将来の夢” ファンド」は、大和ハウスグループの創業 100 周年となる 2055 年にありたい姿としてパーパスに掲げる「生きる喜びを、未来の景色に。」の実現に向け、社会にインパクトのある明日の社会に不可欠の（アスファケツノ）事業に投資しています。

所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
ファンド総額	300 億円（キャピタルコール方式）
運用期間	2024 年 1 月 1 日～2055 年 12 月 31 日
運用会社	大和ハウスベンチャーズ株式会社
ホームページ	https://www.dhgfuturefund.co.jp/

■会社概要

1. 大和ハウスベンチャーズ株式会社

会社名	大和ハウスベンチャーズ株式会社
本社所在地	東京都千代田区飯田橋 3 丁目 13-1
代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木 哲雄
設立	2023 年 11 月
主な事業内容	CVC ファンドの運営、スタートアップ支援及び協業促進 上記活動と連携する事業開発の推進
ホームページ	https://www.daiwahouseventures.co.jp/

2. SORA Technology 株式会社

会社名	SORA Technology 株式会社
本社所在地	愛知県名古屋市西区那古野 2-14-1 なごのキャンパス
代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 金子 洋介
設立	2020 年 6 月
主な事業内容	エアモビリティによる喫緊の社会問題の解決（マラリア対策事業、他 疫病対策事業、農業支援事業など）
ホームページ	https://sora-technology.com/

以 上

お問い合わせ先
大和ハウスベンチャーズ株式会社 03（5214）2020